

府のセンターで「校内研究担当者研修」を受けてきたので、そこで聞いたことをもとに伝えたいことを書かせてもらいます。

研究授業にむけて

来週の火曜日、6年2組で森先生が国語の研究授業をしてくれています。森先生をはじめ、学年の先生方で4月から構想を練って授業を考えてくれているので、学校全体としても学びのある研究授業になってほしいと願っています。

研究授業のポイント

○参観者自身が「いかに学び手の子どもたちが学んでいたか」「どのような学びが実現されていたか」を確かに見取る、つまり、参観者の姿勢と力量こそが求められる。

○研究授業では、「何を」「どこで」「どのように」を見取ることがポイントである。「なぜこのような姿になっているのか」「これを確かにするにはどうすればよいのか」と問い続けながら授業を見る。

研究授業がすべての先生方の学びになる「提案授業」にしていきましょう

事前研の意義

○授業者の提案に対する共通理解の促進

授業者のねらいやそのねらいに基づく授業構想、そして現状の悩みや課題点などを共通理解する。

○学習指導案のブラッシュアップ

研究テーマに基づいた実践になっているかを検証する。共同で改善案を考える。

事前研のポイント

○学習内容の系統性を踏まえたものになっているか

（既習事項、今後の学習内容との関連）

○題材や目標は適切か

○評価規準や判断基準、評価方法の設定は適切か

○指導方法は適切か

○目標を達成できる学習展開になっているか

本時におけた授業が6年生各教室で行っています。余裕があれば6年の教室を少し覗きに行ってください。本時だけでは見えてこないことなどを見るチャンスです!!

明日の放課後、事前研があります。森先生や学年の話聞いて、授業に込められたねらいや思いを共有し、わたしたち自身の授業づくりのヒントをみつけていければと思います。参観するだけでは見えてこない「授業の裏側」や「しかけ」をしっかり知っておくことで、当日の授業の見方が変わると思います。事前研を通して当日の授業を見るポイントをつかんでもらいたいと思います。ぜひ、前向きに参加してください!!